

留学先国名 : デンマーク

留学先学校名 : 南デンマーク大学

留学期間 : 平成 27 年 9 月 1 日 ~ 平成 28 年 6 月 30 日

私はデンマークのオーデンセという街に約 10 か月間留学していました。その間、悩んだり迷ったりしたこともありましたが、留学を終えた今、デンマークで過ごし学んだことは自分にとって本当に価値のある経験になったと感じます。

私は大学でデンマーク語やデンマーク社会について学んでおり、留学では現地の大学で北欧地域について学べる授業を受けてデンマークについてさらに知識を深めようと考えていました。実際に授業を受け始めると、自分が思っていた以上に授業内容を理解するのが難しく、自信の語学力と思考力の不足を痛感しました。しかし時間を経るごとに、徐々に落ち着いて授業を受けることができるようになっていきました。特にこちらではデンマークの芸術や現代文学などの作品について学ぶ授業が多く、日本で勉強していたテーマとは違ったものでした。留学以前は全く興味がなかった分野でしたが、こうした媒体を通して知る新たなデンマークの面々をととても面白いと感じました。特に印象深かった学びは、ジャポニズムが北欧の現代アートに影響を与えており、日本のアートが北欧でも非常に評価されていることや、日本と北欧の芸術やデザイン感覚が似通った価値観を共有していることです。日本から遠く離れた北欧の国々との意外な繋がりがあることを知り、デザイン大国とも言われるデンマークの建築や家具などについても興味が出てきました。

また、住んでいた学生寮でデンマーク人の学生と生活したことで、デンマークの文化や彼らのライフスタイルなどを知ることができました。初めはキッチンメイトと思うように距離を縮められず、孤独や焦りを感じましたが、仲良くなろうと自分から話しかけたり料理を作ってシェアしたりすることで、だんだん外国人と交流することに慣れていきました。普段の会話などで、文化の違いからなかなか相手にことを理解できないこともありましたが、異文化交流の難しさを感じるとともに、自身のコミュニケーション力について考え直すことができました。

こうして留学期間を通し、デンマークの民主主義教育や、他者との協力を重んじる社会風土、難民問題、少子高齢化など様々な切り口からデンマークを見つめることができました。その中で自身にとって一番印象的な学びは「人生を心から豊かに生きようとすることの楽しさ」です。デンマーク人は非常にゆったりしていてポジティブに物事を捉える人たちが多く、客観的ですが、怒ったり不安そうにしている人が少ないと感じます。もちろんそれには国民性や社会背景(教育費・医療費が無料など)が大きく影響しているでしょう。しかし物事をあまり悪い方向に考えず、たとえ何が起ころともおおらかな姿勢でいることで、リラックスした生活を送れているのではないかと思います。また、ユニークで機能的なデザインの家具や街の構造、日常生活

と自然の距離が近いことなど、日本人の生活に取り入れていきたいと感じられるデンマーク流の生活の知恵を発見できました。こうした知恵はすべて、デンマーク語に存在する hygge という単語の意味である温かく心地よくつろぎ楽しむ、という概念に結びついてきます。そしてこの概念を大切に、日常の中で hygge を真剣に追い求めていくデンマーク人の姿を見て、生きること = 楽しむことである、という考え方を学び取りました。これからはデンマークの人々から教えられたこの考え方を大切にして自分の人生を楽しみながらデザインし、周りの人の人生にもプラスの影響を与えていきたいと思います。